平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場会社名　株式会社 コンセック　　上場取引所　大
コード番号　9895　URL　http://www.consec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 佐々木　秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 寺本　泰之　TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日　平成25年2月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,577	9.2	△13	―	17	―	△53	―
24年3月期第3四半期	6,022	△3.0	△209	―	△203	―	△326	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△5百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△374百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.89	―
24年3月期第3四半期	△17.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,775	6,639	60.4	356.52
24年3月期	10,607	6,616	61.4	356.84

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　6,507百万円　24年3月期　6,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	9.6	45	―	74	―	35	―	1.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	18,640,112 株	24年3月期	18,640,112 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	388,579 株	24年3月期	387,022 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	18,252,570 株	24年3月期3Q	18,253,927 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要の下支え等によって、基調としては緩やかな回復傾向が続きました。一方では、依然として円高傾向と欧州の債務危機に著名な改善が見られず予断を許さない状況が続いています。

土木建設業界におきましては、建物にとどまらず道路や橋梁のインフラ設備に対する耐震補強を中心に、各種防災関連の投資が引続き堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループは市場のニーズに対応する機器や材料の販売並びに各種ソリューション提案に基く工事案件を受注するなど、介護事業を除く事業分野では概ね順調な業績改善が達成されつつあります。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は65億77百万円（前年同期比 9.2%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加に加えて販売費及び一般管理費が削減された為に、営業損失は13百万円（前年同期は営業損失２億９百万円）まで改善されました。また経常利益は17百万円（前年同期は経常損失２億３百万円）の黒字計上ができました。特別利益として持分変動利益31百万円、特別損失として投資有価証券評価損45百万円等を計上したことにより、四半期純損失は53百万円（前年同期は四半期純損失３億26百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（セグメント間の売上高は含めておりません。）

（切削機具事業）

引続き好調を堅持し、中でもインフラ整備向けの切削機具及び消耗品等と地震防災のための消散弁の売上が伸びており、売上高は22億36百万円（前年同期比 8.4%増）、セグメント利益（営業利益）は１億87百万円（前年同期は営業利益60百万円）と順調に推移しました。

（特殊工事事業）

繁忙期の夏季を過ぎても継続して建築耐震の需要があり加えて土木耐震及び改修工事を受注した結果、売上が大きく増加し、売上高は11億27百万円（前年同期比27.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は29百万円（前年同期は営業利益12百万円）と順調に推移しました。

（建設・生活関連品事業）

少しばかり足踏み傾向はあるものの、民間設備投資の改善と住宅のリフォーム需要増が継続して、売上高は23億２百万円（前年同期比 9.5%増）、セグメント利益（営業利益）は72百万円（前年同期は営業損失３百万円）と順調に推移しました。

（工場設備関連事業）

従来からの主要顧客を中心に受注案件が継続し、売上高は３億59百万円（前年同期比 3.9%増）、セグメント利益（営業利益）は２百万円（前年同期は営業損失22百万円）と堅調に推移しました。

（介護事業）

高齢者専用賃貸住宅の入居が低迷し、更に一部のデイサービスの利用者数の低下により、売上高は３億27百万円（前年同期比 9.8%減）、セグメント損失（営業損失）は44百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

（ＩＴ関連事業）

順調に進行中だった大型ソフト受託開発案件の一部が延期となり、売上高は２億26百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント損失（営業損失）は１百万円（前年同期は営業利益３百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から１億67百万円増加し107億75百万円となりました。流動資産は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加１億65百万円、たな卸資産の増加32百万円、現金及び預金の減少90百万円などにより77百万円増加し45億65百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が61百万円増加し、投資その他の資産が投資有価証券の評価差額金が減少したため41百万円増加したことなどにより、合計で91百万円増加し62億９百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加１億48百万円などにより１億80百万円増加し31億56百万円となりました。固定負債は、大きな変動は無く36百万円減少し９億80百万円となりました。なお、長期・短期借入金は７百万円増加し16億17百万円となりました。株主資本は、第３四半期純損失53百万円などにより53百万円減少し66億17百万円、その他の包括利益累計額は47百万円増加し△１億10百万円、少数株主持分は29百万円増加し１億31百万円となり純資産は23百万円増加し66億39百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境は、輸出型企業を中心に回復のテンポが早まり、全般的にも順調に推移するものと予想されますが、当社グループは、一層の効率化を目指して努力してまいります。

通期の見通しにつきましては本日（平成25年２月５日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法（建物を除く）を採用し、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更しました。

この変更は、当連結会計年度に新設した在外連結製造子会社「南通康賽克半導体工具有限公司」（中国江蘇省南通市）の本格的な工場稼動など、当社グループのグローバル展開が進展する中で、国内生産拠点から海外生産拠点への移行が明らかとなり、その重要性が高まってきたことを契機として、国内グループ会社の有形固定資産の使用状況を検討した結果、国内においては多種少量の特殊品を安定的に生産することとなるため、定額法による減価償却の方法を採用することにより、当社グループの経済的便益の消費パターンを適切に反映させることができると判断したことから行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第３四半期連結累計期間の減価償却費は14,124千円減少し、営業損失は同額減少し、経常利益は同額増加し、税金等調整前四半期純損失は同額減少しております。

なお、セグメント情報等に与える影響は、当該箇所に記載しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069,887	979,512
受取手形及び売掛金	2,255,666	2,420,812
有価証券	3,613	－
商品及び製品	796,363	773,862
仕掛品	35,077	79,874
原材料及び貯蔵品	199,467	209,070
繰延税金資産	8,972	6,549
その他	127,132	102,979
貸倒引当金	△7,469	△7,276
流動資産合計	4,488,708	4,565,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,924,315	3,924,975
減価償却累計額	△2,386,094	△2,427,510
建物及び構築物（純額）	1,538,221	1,497,465
土地	3,760,476	3,760,476
その他	1,060,373	1,158,991
減価償却累計額	△976,646	△973,658
その他（純額）	83,727	185,333
有形固定資産合計	5,382,424	5,443,274
無形固定資産		
のれん	13,439	8,497
その他	47,248	40,981
無形固定資産合計	60,687	49,478
投資その他の資産		
投資有価証券	399,651	436,025
繰延税金資産	5,986	7,197
その他	336,580	331,185
貸倒引当金	△66,602	△57,801
投資その他の資産合計	675,614	716,606
固定資産合計	6,118,725	6,209,359
資産合計	10,607,433	10,774,741

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,700,014	1,847,637
短期借入金	995,987	1,026,512
未払法人税等	43,809	35,337
賞与引当金	58,841	48,009
完成工事補償引当金	254	215
その他	176,707	198,094
流動負債合計	2,975,612	3,155,804
固定負債		
長期借入金	614,126	590,205
退職給付引当金	324,343	322,569
役員退職慰労引当金	26,961	32,644
その他	50,697	34,976
固定負債合計	1,016,127	980,393
負債合計	3,991,739	4,136,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,090,270	4,090,270
資本剰余金	3,013,064	2,711,745
利益剰余金	△378,159	△129,521
自己株式	△54,962	△55,101
株主資本合計	6,670,212	6,617,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△138,007	△84,567
為替換算調整勘定	△18,788	△25,718
その他の包括利益累計額合計	△156,795	△110,285
少数株主持分	102,277	131,434
純資産合計	6,615,694	6,638,543
負債純資産合計	10,607,433	10,774,741

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	6,021,903	6,576,724
売上原価	4,766,509	5,159,769
売上総利益	1,255,394	1,416,955
販売費及び一般管理費	1,464,186	1,429,658
営業損失（△）	△208,791	△12,704
営業外収益		
受取利息	2,616	3,573
受取配当金	7,960	9,867
受取手数料	7,546	7,120
受取家賃	12,459	11,575
為替差益	－	8,650
その他	10,275	13,044
営業外収益合計	40,855	53,827
営業外費用		
支払利息	12,177	11,121
有価証券運用損	11,098	－
為替差損	9,333	－
開業費償却	－	10,356
その他	2,697	2,481
営業外費用合計	35,305	23,958
経常利益又は経常損失（△）	△203,241	17,165
特別利益		
固定資産売却益	－	41
投資有価証券売却益	－	7
役員退職慰労引当金戻入額	547	－
持分変動利益	－	31,348
特別利益合計	547	31,397
特別損失		
固定資産除却損	503	10,785
減損損失	－	8,581
投資有価証券売却損	464	－
投資有価証券評価損	－	45,351
特別損失合計	967	64,718
税金等調整前四半期純損失（△）	△203,662	△16,155
法人税、住民税及び事業税	27,512	31,850
法人税等調整額	91,729	1,131
法人税等合計	119,240	32,981
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△322,902	△49,136
少数株主利益	3,163	3,544
四半期純損失（△）	△326,065	△52,679

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△322,902	△49,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,602	53,359
為替換算調整勘定	△3,517	△9,041
その他の包括利益合計	△51,119	44,317
四半期包括利益	△374,021	△4,818
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△375,976	△6,170
少数株主に係る四半期包括利益	1,955	1,351

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	2,062,619	882,956	2,102,958	345,144	362,371	265,856	6,021,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	26,804	20,931	－	1,751	49,486
計	2,062,619	882,956	2,129,761	366,075	362,371	267,608	6,071,390
セグメント利益又は損失（△）	59,864	11,905	△2,907	△21,824	△28,686	3,244	21,597

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）　（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	21,597
セグメント間取引消去	△2,635
全社費用（注）	△227,753
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△208,791

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント						
	切削機具事業	特殊工事事業	建設・生活関連品事業	工場設備関連事業	介護事業	ＩＴ関連事業	合　計
売上高							
外部顧客への売上高	2,236,234	1,126,672	2,302,327	358,642	326,906	225,943	6,576,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	23,058	17,287	－	2,331	42,677
計	2,236,234	1,126,672	2,325,385	375,929	326,906	228,274	6,619,401
セグメント利益又は損失（△）	187,034	28,605	72,294	2,279	△44,148	△1,053	245,009

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）　（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	245,009
セグメント間取引消去	△5,455
全社費用（注）	△252,257
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△12,704

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、定率法（建物を除く）によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より、定額法へと変更しております。この結果、従来の方法と比べて、当第３四半期連結累計期間の「切削機具事業」、「特殊工事事業」、「建設・生活関連品事業」及び「工場設備関連事業」のセグメント利益はそれぞれ6,961千円、2,708千円、1,907千円、666千円増加し、「介護事業」及び「ＩＴ関連事業」のセグメント損失はそれぞれ1,006千円、56千円減少しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

重要性がないため記載を省略しております。

（のれんの金額の重要な変動）

重要性がないため記載を省略しております。

（６）重要な後発事象

当社は、平成25年１月24日付で、山陰建設サービス株式会社（資本金10,000千円）の発行済株式20千株すべてを40,000千円で取得し、持分比率100％の連結子会社といたしました。

①取得企業の概要

名称　　山陰建設サービス株式会社
所在地　　鳥取県米子市
事業内容　建設業

②取得の理由

特殊工事事業における事業基盤の強化のためであります。